

# 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2024

## (芸術未来研究場 共同研究企画公募事業)

# 募 集 要 項 A

※この募集要項は、2024年4月1日時点で本学に在籍する正規課程の学生  
または教員・研究者を対象としたものです。卒業生・修了生を対象とした  
公募については、別途公開している「募集要項B」を参照してください。

# 芸術未来研究場

芸術は人を愛する



申請締切：2024年5月14日(火)17時

助成総額(予定)：1,200万円

2024年3月14日 東京藝術大学

芸術未来研究場 アート DX 領域, ケア&コミュニケーション領域

(芸術情報センター アート DX 専門部会, 共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点)

## 1 趣旨・目的

東京藝術大学は、「世界を変える創造の源泉」として、芸術が持つ無限の可能性を社会に向けて伝え、実践によって示すため、2019年度より企画公募事業『東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト』を展開しています(これまでに採択・実施された企画のアーカイブ等の特設 Web サイトに掲載しています:<https://iloveyou.geidai.ac.jp/>) ※アート DX プロジェクトの Web サイトにも4月中旬を目途に実施報告を掲載予定です:<https://artdx.geidai.ac.jp/>)

また本学は、2023年4月に「芸術未来研究場」を創設しました。本研究場は、多様性を認め合える社会の実現に向け、「アートは人が生きる力である」という確信及び「人の心」への眼差しを根幹として、新たな価値の創造や社会的課題の解決に係る実験と実践を重ねることを通じ、人類と地球のあるべき姿を探究することを目的としています。

この度、「I LOVE YOU」プロジェクト 2024 を、「芸術未来研究場が主催する共同研究企画公募事業」として実施し、以下2つの研究領域それぞれで参加企画を広く募集します。

- (1) **アート DX: アートを介してデジタル技術の可能性を拡張/再発見し、向かうべき社会の最先端 (State-of-the-Art) を塗り変える**
- (2) **ケア&コミュニケーション: アート×福祉・医療による誰もが孤立しない共生社会の実現**

## 2 募集する共同研究企画の実施期間

・2024年7月1日~2025年3月31日

## 3 申請資格・対象

### ①2024年4月1日時点で本学の正規課程に在学する学生が主催する企画

※研究生等の非正規生や、履修証明プログラムの受講生は対象外です。

※正規課程の学生であっても、休学者は対象外です。

### ②2024年4月1日時点で本学に所属する教員・研究者が主催する企画

※対象となる職種は、本学の専任教員、特任教員・研究員(非常勤含む)、教育研究等非常勤職員(教育研究助手、学芸研究員、テクニカルインストラクター、学術インストラクター)、専門研究員、実技指導や研究指導を担当する非常勤講師です。

※教養科目、専門基礎科目、語学科目等を担当する非常勤講師は対象外です。

## 4 助成金額、助成対象経費、助成金の使用方法

助成金額 ①: 1件につき20万円以内 ②: 1件につき100万円以内

助成対象経費 消耗品費、印刷費、翻訳費、旅費、業務委託費、通信運搬費、広告宣伝費、使用料/借料(会場費や機材レンタル)、感染症対策費

※研究環境整備用の備品(空調機器、机、椅子、棚など)は購入できません。

※飲食費・交際費(手土産代など)はいかなる場合も対象となりません。

※企画申請者(代表者)本人に対して業務委託費や謝礼は支払えません。

※学生が主催する企画(上記①の枠組)の場合、換金性の高い物品(パソコン、タブレット、カメラ、録画・録音機器、テレビなど)及び取得価額が消費税込10万円以上の物品は購入できません。

助成金の使用方法 学生が主催する企画および教員・研究者が主催する企画のどちらについても、大学の会計事務を通じて物品等の発注や支払い処理を行います。

※採択通知前に発生している経費には助成金を充当できません。

## 5 募集する共同研究企画の要件および分野・形態

※「(1)アート DX」「(2)ケア&コミュニケーション」の2つの領域それぞれで、各領域を主導する教員・研究者との「共同研究」となりうる企画を募集します。採択企画には、必要に応じて研究支援者が配置され、企画の実施や研究面での助言/技術的支援を行います。

※採択企画には、各領域が実施する中間/最終成果の発表の場等への参加を求めます。

※申請は1人1件までです(2つの領域に別々の企画を申請することは不可。但し、2領域にまたがるような内容の企画を申請した場合、それぞれで審査対象となります)。

※要件に合致していれば、美術・音楽・映像等の分野は問いません。

※社会への発信を伴う企画であれば、展覧会、演奏会、上映会、研究報告会、講演会、ワークショップ、シンポジウム、Webサイトでの公開等の形態は問いません。

※入場料や参加料等の収入を伴う企画は不可です。

※大学の課題等に係る制作・演奏・研究等を内容とする企画は対象外です。

### (1)アート DX 領域

東京藝大アート DX プロジェクトは、デジタル技術や ICT 技術を使って、芸術の価値、ひいてはアートの社会的価値を最大化し、Well-being な社会構築を目指しており、現在は、以下のテーマを中心に研究開発を行っています(<https://artdx.geidai.ac.jp/>)。

建築情報研究室

ゲームコミュニケーション研究室

音響メディア研究室

XR/VR研究室

DXプロデューサー研究室

Tokyo Geidai Art DX

1. Extension  
最新の技術を駆使し、表現の幅や制作を支える環境を拡張する

2. Exploration  
新しいテクノロジーを素材として“あそぶ”ことで、未知なる可能性を探究する

3. X(Trans)-formation  
技術の異なる使い方を提示することで、社会が進みゆく未来像に変革をもたらす

本公募では、分野を問わず、現在進行形で発展中のデジタル技術を活用した表現や、デジタル技術に対する根源的な問いをもたらす表現の研究企画を募ります。研究内容は作品の制作に限らず、それにつながるようなツールの開発や技法の探究や、作品研究/分析にデータ解析などのデジタル技術を活用するものも受け付けます。

また、アート DX の前身となる東京藝大デジタルツイン (<https://dt.geidai.ac.jp>) の活動の一つとして作られた上野公園のメタバース「デジタル上野の杜」や、アート DX の中心を担っている芸術情報センター (AMC) の技術、機器 (レーザーカッター、3D プリンター、UV プリンター等のデジタルファブリケーション機器や、3D スキャナー、録音配信スタジオ等の設備) を活用するアイデアも歓迎します。

採択後は、7月頃にキックオフミーティング、11月と3月には全テーマで集まる中間報告会、最終成果展示および Web 掲載・公開用の実施報告を予定しています。

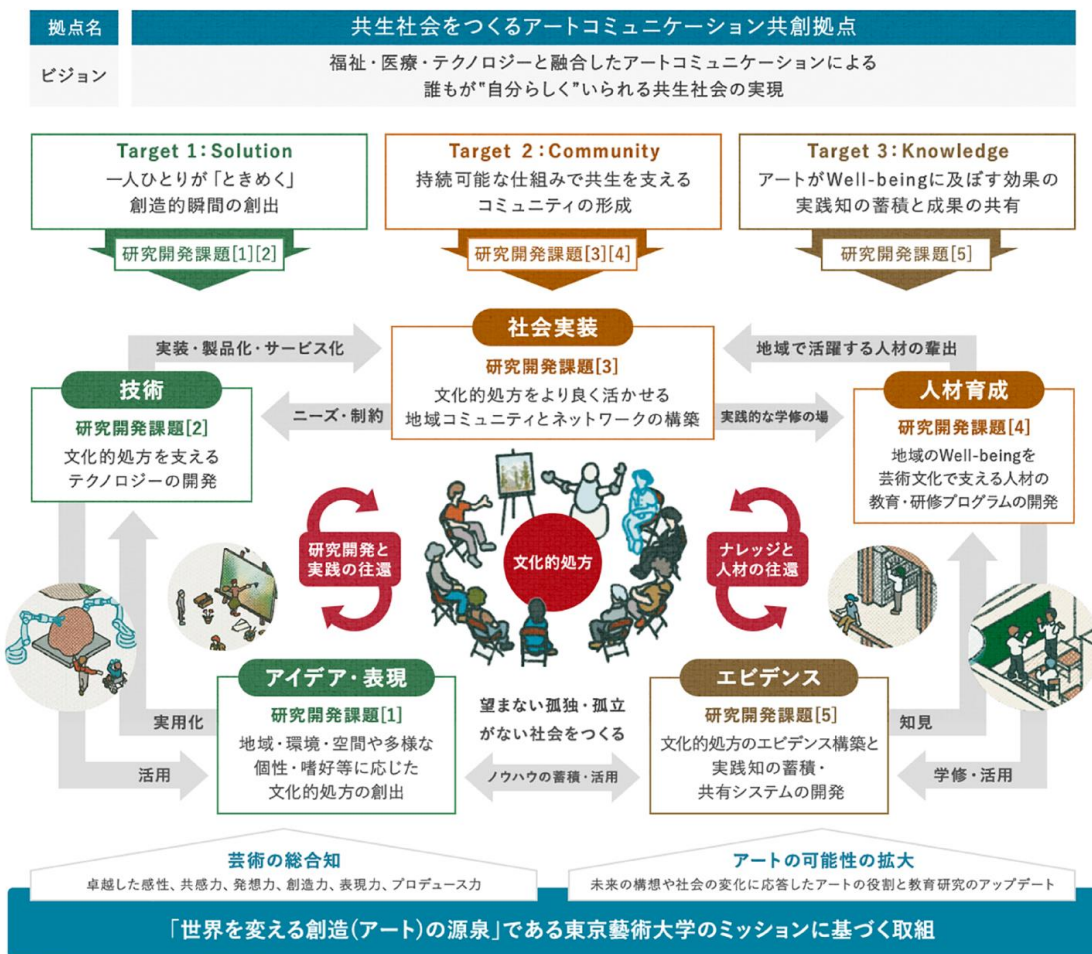
## (2) ケア&コミュニケーション領域

超高齢化社会等を背景とする「望まない孤独や孤立」に対する解決策として、誰もが取り残されず社会に参加できる新たな芸術体験「文化的処方」となるアイデア・表現を研究開発する企画を募集します。「文化的処方」とは、「社会的処方(※)」を援用したコンセプトで、自己・他者とのつながりを生むアート活動と、医療・福祉・テクノロジーを組み合わせることで、多様な人々が緩やかにつながり、その人がその人らしくいられる居場所と創造的な体験を創出して、個人と地域社会のウェルビーイングを実現する手法や社会システムです。

※社会的処方：身体的健康のみならず、精神的及び社会的に健康であることのために、薬ではなく社会との繋がりを、専門人材であるリンクワーカーが医療機関等と連携し、必要とする者に処方する仕組みで、主にイギリスなどで実装されている。

本領域における公募は、科学技術推進機構（JST）「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」の「本格型（共創分野）」に採択された、東京藝術大学を中心とする産学官の共創プロジェクト「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」による研究開発の一環として行われ、同拠点の研究員等が必要に応じて採択企画の支援等を担います。

同拠点についての詳細は Web サイト(<https://kyoso.geidai.ac.jp/>)を参照ください。



「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」のプロジェクト概要

## 6 申請締切

・2024年5月14日(火) 17:00【時間厳守】

・申請書類データの提出先: [i-love-you@ml.geidai.ac.jp](mailto:i-love-you@ml.geidai.ac.jp) (各種問い合わせも受け付けます)

※申請は1人につき1件迄です(ひとつの企画について複数人が別々に申請するのも不可)。

※締切時刻までに必要書類一式が事務局で受信できている場合のみを審査対象とします。

## 7 申請に必要な書類

[1]企画書 兼 予算計画書(所定様式: Microsoft® Office Excel および PDF 化したデータ)

[2]コンセプトペーパー(A4 縦1枚、PDF データ。企画概要を分かりやすくまとめたもの。

作成方法は手書きを含め自由ですが、提出の際は PDF 化してください)

※**[1]の EXCEL データおよび PDF データ、[2]の PDF データの3種類の提出が必要**です。

※コンセプトペーパーには「企画のタイトル」を必ず記入してください。

※様式の変更やページ数の増減をしないでください。

## 8 審査・選考

・審査および選考は、以下①～④の観点により、東京藝術大学 芸術未来研究場のアート DX 領域およびケア&コミュニケーション領域の教員・研究者等が行います。

①本公募事業の趣旨・目的に合致しており、社会にインパクトを与えることが期待される。

②内容や着眼点に独創性があり、各芸術分野の特性を踏まえた高度な研究や実践が期待される。

③アート DX 領域またはケア&コミュニケーション領域が求める企画内容に合致している。

④予算の積算が妥当であり、実施に必要な条件が準備できていると見込まれる。

・審査結果として、採択企画および助成額の一覧を大学 Web サイト等で公表します。

※審査結果は2024年6月下旬頃に公開・通知予定です。

※申請額よりも助成額を減額して採択する場合があります。

## 9 応募にあたっての注意事項

・学生が申請する場合、企画実施の「監督者・管理者」として、指導教員の許可を必ず得てください(特に、本企画の実施に係る研究支援者が配置されることについて)。

・企画における「社会への発信を伴う活動」を行う場所等については、申請者が各自で責任をもって確保してください(申請時には未定でも構いません)。

但し、2024年の11月下旬に、本学の大学美術館において、アート DX 領域およびケア&コミュニケーション領域を含む「芸術未来研究場」全体を社会に発信する展覧会を開催する予定であり、本公募に係る企画書様式の中に、この展覧会への出展(作品展示やパネル展示等による中間成果物の発表や企画概要の紹介)を希望するかどうかを選択する欄を設けていますので、参加を望む場合はその旨を記載してください(展示等の場所や機会の確保を約束するわけではありませんので、ご注意ください。なお、本展覧会に参加いただくこととなった場合、出展に係る経費は本助成金とは別途大学側で負担します)。

・企画の代表者等には、本プロジェクト主催のイベント等への参加を依頼する場合があります。

・企画書等の内容は本プロジェクトの広報活動に使用させていただく場合があります。

・「ケア&コミュニケーション領域」に申請・採択された企画の代表者は、「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」への参画に係る手続きとして「eAPRIN (研究倫理に関するeラーニング教材)」の履修が必要となる場合があります。

- 以上 -

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト2024 (芸術未来研究場 共同研究企画公募事業)

**[公募A] 企画書 兼 予算計画書** (EXCELとPDFの両データを提出してください)

※この様式のほかに、コンセプトペーパー (A4縦1枚・片面、様式任意、PDF) の提出が必要です。

企画のタイトル ※コンセプトペーパーにも必ず記載してください	<b>※企画のタイトルを記入してください</b>	
企画の実施日/期間	西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日	
申請する領域 ※いずれか1つに「○」を記入してください。	(1) アートDX領域の企画として申請する	
	(2) ケア&コミュニケーション領域の企画として申請する	
	(3) 両領域にまたがる企画として申請する	
企画の概要 (主旨・目的・内容等)  1,000~1,200字程度	本企画の概要について、本公募の趣旨および、「募集要項A」の「5 募集する共同研究企画の要件」に記載しているアートDX領域またはケア&コミュニケーション領域が求める企画の観点を踏まえて記入してください。 <b>※本企画の主旨・目的・内容等を1,000~1,200字程度で記入してください。</b>	

以下、2ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

研究計画・実施方法  
(日程・場所等を含む)

※本企画について、準備期間も含めたスケジュール・実施場所・実施方法等を記入してください。

2024年11月下旬に予定されている大学美術館での「芸術未来研究場」展への参加希望  
※いずれか1つに「○」を記入してください。

希望する  
希望しない  
どちらとも言えない

※「希望する」または「どちらとも言えない」に「○」を入力した場合、どのような形で参加したいか等の具体的な内容や、こういう条件等であれば参加したいといった希望を本欄に記入してください。

研究支援者に求めるメンタリング内容やサポート内容

※上記の研究計画において、本企画が採択された場合に配置される研究支援者にどのようなサポート等を希望するかを記入してください。

申請代表者

氏名	所属	学年／役職
●● ●●	●●学部●●専攻	学部●年／●●

主な学修歴（資格・留学等）・活動実績（展示・公演・研究・受賞等）

※本企画の準備・実施にあたって参考となる（本企画に活かすことができる）これまでの学修歴や経験、過去の活動実績等について記入してください。

【学生が申請者の場合は記入必須】  
監督教員  
(専任教員による監督が必須です。非常勤講師や教育研究助手は監督教員にはなれません)

氏名	所属	役職
●● ●●	●●学部●●学科	●●●●

※上欄の記入は、本企画における申請学生および協力者による企画の準備・実施・報告等が、上記教員による監督のもとで行われることを約束するものです（申請書提出前に、必ず上記教員による申請内容のチェックと、申請許可を得てください）。申請書受領後、事務局において、上記教員に事実確認を行う場合があります。

実施協力者  
(主要な協力者のみ記入し、その他の参画者については総括して記入してください)

氏名	所属・学年／役職	本企画における役割
●● ●●	●●学部●●学科・学部●年	●●●●
●● ●●	●●大学●●学部・学部●年	●●●●

●●●●地域の方々	●●名程度	現地協力者
●●●●団体の方々	●●名程度	インタビュー対象者

以下、3ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

企画全体の予算計画

※飲食費・交際費はいかなる場合も計上できません。 企画申請者(代表者)本人に対する委託費・謝金等の支出は不可です。

区分	摘要	数量	単価(円)	金額(円)
消耗品	(記入例)			
	〇〇材料費	0	0	0
	〇〇展示用品	0	0	0
	関連書籍購入費	0	0	0
謝金		0	0	0
	〇〇撮影・録音謝金	0	0	0
	〇〇のデザイン作成謝金	0	0	0
	〇〇の動画編集謝金	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
旅費	調査のための交通費(〇〇~〇〇往復)	0	0	0
	調査のための宿泊費(〇〇市内)	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
印刷製本費	〇〇〇印刷費	0	0	0
		0	0	0
借料損料	〇〇ホール借料	0	0	0
	〇〇用ソフトウェアライセンス費	0	0	0
その他		0	0	0
	〇〇学会参加費	0	0	0
	〇〇翻訳外注費	0	0	0
	〇〇運搬費	0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
計				0
本公募における助成金申請額(※必要経費額を超える申請は不可です) (在学生の主催企画: 20万円以内 教員・研究者の主催企画: 100万円以内)				0
共催・協賛・後援等 外部団体等の助成金 への申請状況等	※外部団体等と連携した企画や、他団体から助成金等を受ける予定がある場合は、その状況について記入してください。			



以下、4ページ目（この行がページの先頭になるようにしてください）

申請代表者の連絡先	メールアドレス	
	電話番号	
事務担当者の連絡先 (助手の方など)	メールアドレス	
	電話番号	
監督教員の連絡先 ※申請者が在学生の場 合、記入必須	メールアドレス	
	電話番号	